

序 文

平成 26 年度より開講した「社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座」は、愛媛および四国地域における社会基盤のメンテナンスのために、即戦力となる人材育成を目的として“四国 ME”を育成してきました。今後、社会基盤の老齢化にともなう老朽化の増大と地域における社会環境の縮退が進む中、社会生活の基盤となるインフラ施設の維持管理を担う人材として、さらに多くの四国 ME の養成が必要とされています。

本講座は、文部科学省 平成 26～28 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」と平成 29 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」による「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計」により構築されました。その中で本講座の運営経費も文部科学省の研究費より充当してきましたが、平成 30 年度以降は地域において独力で運営することが求められ、その資金は途絶えました。そのため、本年度（令和元年度）からは受講料の有料化へと移行し、講座運営のための必要最小限の原資を受講者の負担より賄うこととしました。幸いにも、本年度も一般財団法人 上田記念財団様より「平成 31 年 4 月度 第 10 期地球環境維持活動（土木）支援」の助成を得ることができ、その二本柱の資金のおかげで、本講座ならびに ME 修了生のフォローアップ、年度末の ME 関連シンポジウムの開催、さらに同様な活動を行っている 5 大学 1 高専（コンソーシアム）との連携活動にも取り組むことができました。そして、講師の皆様をはじめ関係各位より多大なご助力をいただきました。このようにして、本年度も講座の開講を無事に終えることができましたこと、関係各位に衷心より感謝申し上げます。

本年度は 26 名が認定試験に合格し、四国 ME は総勢 145 名となりました。本講座は平成 28 年度から愛媛大学の「履修証明プログラム」となり、文部科学省の「職業実践力育成プログラム (BP : Brush up Program)」にも認定されています。そしてプログラム修了生に付与される“四国 ME”の資格は、平成 29 年 2 月に四国に本拠を置く機関・団体では初めて国土交通省の規定を満たす「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」(民間資格)に認定されました。このような資格制度に関わる整備を進めるとともに、ME 養成講座のカリキュラムについてもより充実させることに力を注いでいます。

本年度は、「平成 30 年 7 月豪雨災害」からの復旧・復興への取り組みが進む中、特に南予地方では行政や建設・コンサルタント会社からの受講が難しい状況が継続しました。そのような背景にありながらも定員を満たす参加を得たことは、喜ばしい限りです。社会インフラの安全性と信頼性の向上および維持管理コストの縮減のためには、引き続き、地域の産官学が連携・協力して技術者のレベル向上を図っていく必要があります。これまでの関係各位のご尽力に感謝申し上げるとともに、今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月

愛媛大学防災情報研究センター長 森脇 亮